

(様式4)

令和5年度 自己評価結果報告書

学校名 湯梨浜町立羽合小学校

校長名 谷口章人 印

1. 学校の教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

～仲間とともに 地域とともに 未来を切り開く子どもの育成～

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 落ち着いた生活の中で、「個」と「集団」の力を伸ばす。
- 育てたい（育てなければならない）資質・能力が身につく授業改善を進める。
- 地域とつながり、地域に根ざした教育活動を充実させる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 結果 | 理由 |
|--|----------|--|
| <p>(1) 心を耕し豊かな心を育む 【やさしく】 ○あたたかい学級づくり A ・「友だちは自分のいいところを分かってくれていると思う」 →80%以上 ○友だちとのよりよい関係の構築 A ・「友だちは自分に優しい言葉やあたたかい言葉を使ってくれる」 →80%以上</p> | A | <p>→ 中間期85.0% 後期85.8% ・異学年同士でも互いのよさを認め合う場面が増えた。</p> <p>→ 中間期91.4% 後期93.0% ・学校として大事にしたい言葉を共通認識することで、どの教員も同じように指導ができ、乱暴な言葉を使う児童が減ってきた。 ・あったか言葉の取組を1学期に学級、2学期に個人という流れで行ったことが効果的だった。</p> |
| <p>(2) 未来を切り拓く資質・能力の育成 【かしこく】 ○話し方の基礎・基本の定着 A ・「友だちは話型を使って話している」 →80%以上 ・「自分の思いを友だちに伝えている」 →80%以上 ○聞き方の基礎・基本の定着 A ・「友だちはうなずきながら話を聞いていますか？」 →80%以上 ・「友だちは目を見て、話を聞いてくれますか？」 →80%以上</p> | A | <p>→ 中間期82.0% 後期83.2% ・話型の掲示物が教室にあることで児童に意識づけをして学習をすることができた。</p> <p>→ 中間期86.0% 後期86.5% ・学習の中で話し合う場を効果的に設定することができた。</p> <p>→ 中間期83.0% 後期83.6%</p> <p>→ 中間期89.4% 後期89.3%</p> |

(様式4)

| | | |
|---|-----------------|---|
| <ul style="list-style-type: none">・「友だちは最後まで話を聞いてくれますか？」→80%以上・「友だちは一生懸命話を聞いてくれますか？」→80%以上・「友だちは笑顔で話を聞いてくれますか？」→80%以上 | | <p>→ 中間期90.8% 後期91.3%</p> <p>→ 中間期89.6% 後期90.0%</p> <p>→ 中間期84.6% 後期83.6%</p> <p>・聞き方の型「ウメライス」という掲示物が効果的であり、定着した。</p> |
| <p>(3)健康でたくましい心と体づくり</p> <p>【たくましく】</p> <p>○基本的な生活習慣の定着 B</p> <ul style="list-style-type: none">・ぐっすりデーの達成率 →85%以上・ハワイふれあいデーの結果 →75%以上・ゲームやインターネットをする ときの約束の有無 →80%以上 <p>○あきらめず粘り強く身体づくりに取り組む児童の育成 A</p> <ul style="list-style-type: none">・「体育の学習で、目標を持ってねばり強く取り組むことができた」 →80%以上 | <p>B</p> | <p>→ 中間期79.9% 後期80.3%</p> <p>→ 中間期67.9% 後期69.2%</p> <p>→ 中間期66.7% 後期68.3%</p> <p>・様々な取組を行う中で、教師主導ではなく、児童自身が取組の良さを実感したことで、児童の意欲や活動内容が良い方向に変化していった。</p> <p>→ 中間期89.6% 後期89.7%</p> <p>・がんばりカード等で目標やがんばりを可視化し、継続して活動に取り組むことができた。</p> |
| <p>(4)地域とともにある学校づくり</p> <p>【開かれた学校】</p> <p>○積極的な情報発信と保護者の学校行事への参画 A</p> <ul style="list-style-type: none">・学校は、参観日や各種たよりやホームページなどで、子どもたちの様子をよく伝えている。 →85%以上・私は学習参観や学校行事に、積極的に参加している。 →85%以上 <p>○地域に学ぶふるさと教育の推進を図る。 A</p> <ul style="list-style-type: none">・単元計画に基づき、地域のひと、もの、ことと深く関わる学習ができたか。 | <p>A</p> | <p>→ 中間期88.7% 後期91.6%</p> <p>→ 中間期83.2% 後期86.8%</p> <p>・日々の学校ホームページの更新や各種たよりの発行、さらには各種行事の開催等、昨年度以上に学校の様子をお伝えする機会が増えた。</p> <p>・読み聞かせ、学習支援、学習補充、白衣の修繕など日常の学校生活のあらゆる場面で学校支援ボランティアの方に関わっていただいている。</p> <p>・コロナ禍が明けたことにより、町内の様々な施設や人、もの、こととの関わりがためらわずできるようになり、ほぼ年間計画通り積極的に学習を積み上げることができた。</p> |

(様式4)

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結 果 | 理 由 |
|-----|---|
| A | <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍が明け、保護者、地域の方々のご理解ご協力のもとに本校がめざす教育活動を展開することができた。・学校経営を支える4つのプロジェクトを構築し、日々の学校運営を行った。プロジェクトリーダーが中心となり、それぞれの活動が円滑に機能し、目標が概ね達成された。・後期の保護者アンケートでは、「学校」が主語となる全ての質問項目において、前期を上回る肯定的評価をいただいた。児童アンケートにおいても、肯定的評価90%以上の項目が前期より2項目増加している。 |

◎「3・4」の評価結果の表示方法

| | |
|---|--------------------|
| A | 十分達成されている |
| B | 達成されている |
| C | 取り組まれているが、成果が十分でない |
| D | 取組が不十分である |

5. 今後取り組むべき課題

| 課 題 | 具体的な取組方法 |
|-------------------------|--|
| 基礎・基本の定着 (特に算数科における) | <ul style="list-style-type: none">・基礎基本の徹底に係る授業改善。・学習習慣の定着を図るための家庭学習との連動。 |
| 基本的生活習慣の徹底 | <ul style="list-style-type: none">・PTA活動や保護者と連携した施策の展開。 |
| ふるさとキャリア教育の 更なる推進 | <ul style="list-style-type: none">・学校支援ボランティアとの更なる協力。・地域のひと、もの、ことの更なる活用。 |